

5. - 20) 検定結果 烏骨鶏交雑

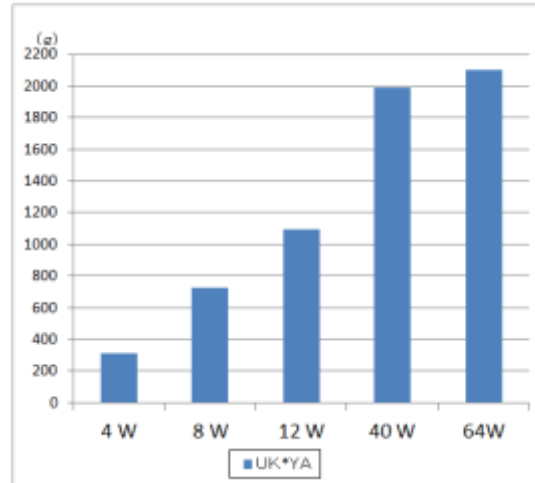
UK×YA (烏骨鶏×WL) コマーシャル卵用及び卵肉兼用タイプ (CM♀) 29年度

(1) 体重 (表3、図1参照)

体重は、4週齢・8週齢を10%抽出(10羽)、12週齢を全羽数、40週齢・64週齢を60%抽出(60羽)として測定した。

成鶏期の40週齢では1.99 kgとなり、検定終了時の64週齢では、2.10 kgとなった。

	4週齢	8週齢	12週齢	40週齢	64週齢
	28日齢	56日齢	84日齢	281日齢	448日齢
平均体重	310	724	1,095	1,987	2,099
最大	341	816	1,296	2,639	2,754
最小	281	656	842	1,592	1,372
標準偏差	16.5	49.0	86.4	171.2	251.0
変動係数	5.35	6.77	7.89	8.62	11.96
数	10	10	100	60	60



※ 表3における12週齢の全数測定において、
発育不良等により極端に低い体重のものは、
異常値として集計から除外した。

(参考) 烏骨鶏純粋種の平均体重

40週齢時：1,399 g (28年鶏：岡崎牧場系)

(表3・図1) 平均体重の推移

(2) 羽色・外貌特徴

ア 0 週齢時（羽色のみ(20%抽出)）（図 2 参照）

羽色は、その組合せの中で多く占めている羽色タイプを順に、羽数をカウントすることとした。

「UK×YA」は、全て（20羽中20羽）が羽色タイプ I（褐色斑）であった。



(図 2) <UK×YA>の羽色

イ 12 週齢時（羽色・外貌特徴）（図 3 - 1 ~ 3 参照）

「UK×YA」は、全て（100%（99羽中99羽））が羽色タイプI（濃褐色）であった。外貌の特徴は、何れも体型が卵用種型（地鶏型）、冠は胡桃冠・単冠が見られ、毛冠があり、耳朵色は濃藍色、脚色は薄い鉛色（一部鉛色）、脚毛があり（一部脚毛なし）、趾は多趾（一部多趾でない）であった。

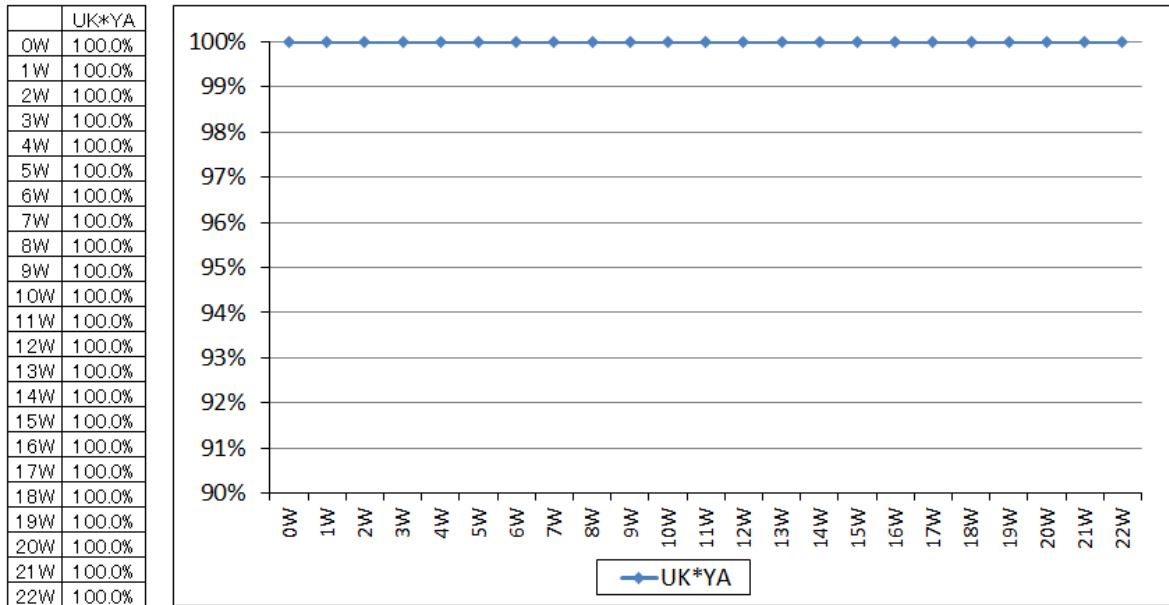


（図 3 - 1） <UK×YA> 羽色タイプIの羽色・外貌の特徴

(3) 育成率・生存率

ア 育成率 (表4・図4参照)

期間中の斃死・淘汰はなく、育成率は100%であった。

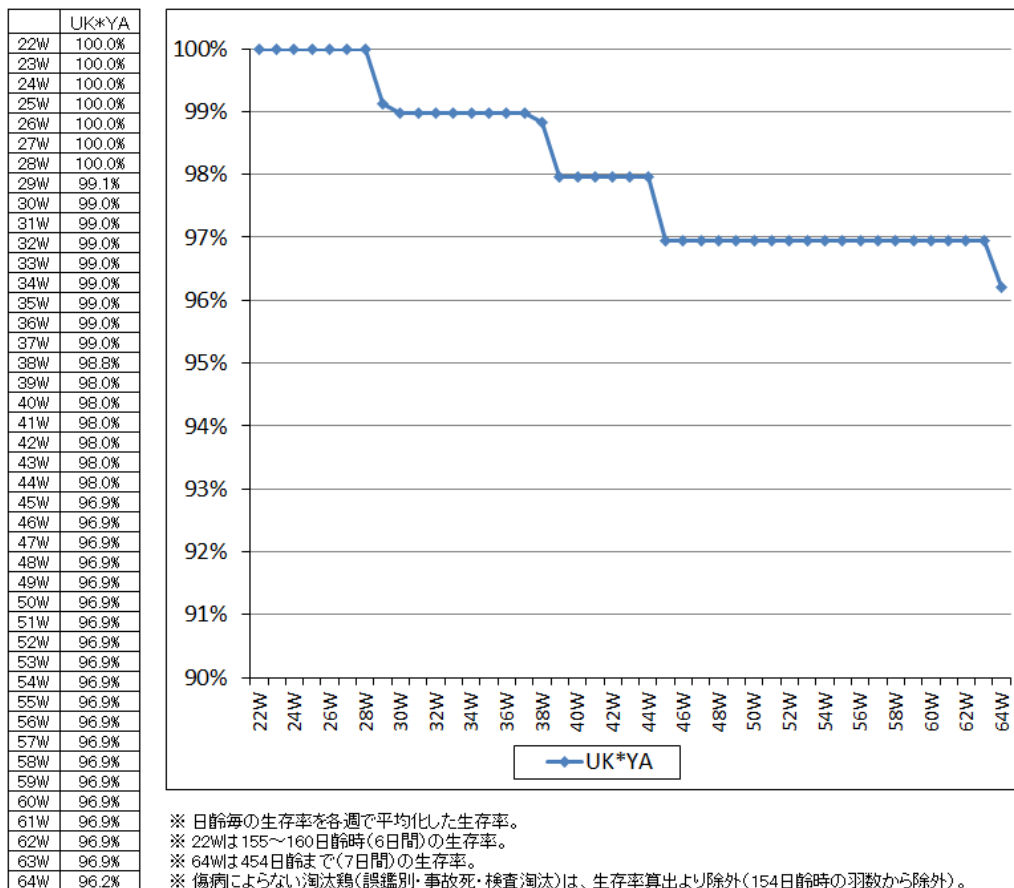


- ※ 日齢毎の育成率を各週で平均化した育成率。
- ※ 22Wは154日齢時(1日間)の育成率。
- ※ 傷病によらない淘汰鶏(誤鑑別・事故死・検査淘汰等)は、育成率算出より除外(え付羽数から除外)。

(表4・図4) 育成率の推移

イ 生存率 (表5・図5参照)

29週齢から64週齢にかけて消化器病により斃死し、生存率は96.2%であった。



- ※ 日齢毎の生存率を各週で平均化した生存率。
- ※ 22Wは155~160日齢時(6日間)の生存率。
- ※ 64Wは454日齢まで(7日間)の生存率。
- ※ 傷病によらない淘汰鶏(誤鑑別・事故死・検査淘汰)は、生存率算出より除外(154日齢時の羽数から除外)。

(表5・図5) 生存率の推移

(4) へい死・淘汰要因 (表 6 参照)

消化器病(肝内出血(4羽中2羽))、腫瘍(腸間膜・腸管漿膜面：4羽中2羽)が発生し、へい死・淘汰率は4.1%となった。

(表 6) へい死・淘汰率 (日齢/羽数)

区 分	UK×YA
肝内出血	2.0% (204~/2羽)
腫瘍	2.0% (313~/2羽)
計	4.1% (4羽)

※ 64W(454日齢:H30/7/1)までのデータとした。

※ へい死・淘汰率は、え付羽数から検査淘汰などを除いたものを補正え付羽数とし、その羽数に対する率とした。

(5) 産卵性能

ア 各性能 (表 7 参照)

50%産卵日齢は、146日齢。

ピーク産卵率は、97.3%。

168～454日齢の期間産卵率は、81.2%。

(表 7) 各性能

区 分	50%産卵日齢	ピーク産卵率	期間産卵率
UK×YA	146日齢	97.3%	81.2%
	(145日齢：42.4% 146日齢：52.5% 147日齢：50.5%)	(194日齢：98.0% 195日齢：94.9% 196日齢：99.0% 平均 97.3%)	期間産卵個数：22,442個 期間延べ羽数：27,634羽 期間産卵率：81.2%

※「50%産卵日齢」は、産卵率が50%に達した最初の日齢

※「ピーク産卵率」は、産卵ピーク時3日間の平均産卵率

※「期間産卵率」は、168～454日齢の期間産卵個数/期間延べ羽数

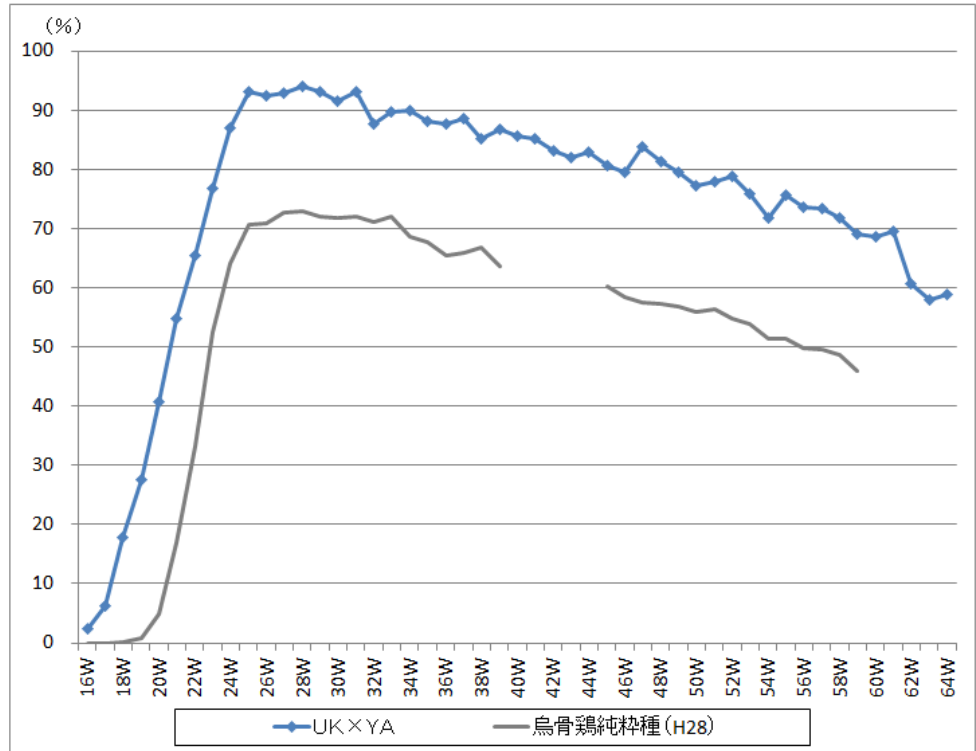
(表 8) (参考) 純粋種の各性能 (28年鶏：岡崎牧場系)

区 分	50%産卵日齢	ピーク産卵率	期間産卵率
烏骨鶏 純粋種	163日齢	73.9%	59.6%

イ 週齢毎産卵率（表 9・図 6 参照）

16 週齢より産卵を開始し、18 週齢より一気に上昇し、28 週齢で産卵ピークを迎えた。その後、大きな低下もなく、32～48 週齢にかけて 80%以上を維持し、46 週齢、54 週齢、62 週齢で若干低下したものの、検定終了時の 64 週齢では 58.8%となった。

		UK×YA	純
7/24～	16W	2.3%	0.0%
7/31～	17W	6.2%	0.0%
8/7～	18W	17.9%	0.2%
8/14～	19W	27.6%	0.9%
8/21～	20W	40.7%	4.9%
8/28～	21W	54.8%	17.0%
9/4～	22W	65.5%	33.2%
9/11～	23W	76.8%	52.5%
9/18～	24W	87.0%	64.0%
9/25～	25W	93.2%	70.7%
10/2～	26W	92.5%	70.9%
10/9～	27W	92.8%	72.6%
10/16～	28W	94.1%	73.0%
10/23～	29W	93.2%	72.1%
10/30～	30W	91.5%	71.8%
11/6～	31W	93.0%	72.0%
11/13～	32W	87.6%	71.1%
11/20～	33W	89.7%	71.9%
11/27～	34W	89.9%	68.5%
12/4～	35W	88.0%	67.7%
12/11～	36W	87.6%	65.5%
12/18～	37W	88.7%	66.0%
12/25～	38W	85.3%	66.7%
1/1～	39W	86.8%	63.7%
1/8～	40W	85.7%	
1/15～	41W	85.1%	
1/22～	42W	83.0%	
1/29～	43W	82.0%	
2/5～	44W	83.0%	
2/12～	45W	80.6%	60.1%
2/19～	46W	79.5%	58.5%
2/26～	47W	83.9%	57.6%
3/5～	48W	81.2%	57.3%
3/12～	49W	79.4%	56.9%
3/19～	50W	77.1%	56.0%
3/26～	51W	77.9%	56.4%
4/2～	52W	78.8%	54.7%
4/9～	53W	75.8%	53.8%
4/16～	54W	71.7%	51.3%
4/23～	55W	75.6%	51.4%
4/30～	56W	73.7%	49.8%
5/7～	57W	73.4%	49.7%
5/14～	58W	71.7%	48.6%
5/21～	59W	69.2%	45.9%
5/28～	60W	68.7%	
6/4～	61W	69.5%	
6/11～	62W	60.6%	
6/18～	63W	57.9%	
6/25～	64W	58.8%	



※ 日齢毎の産卵率を各週齢で平均化した産卵率

(表 9・図 6) 週齢毎産卵率の推移

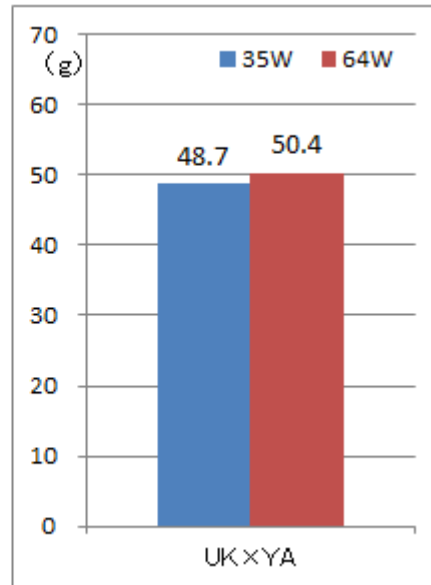
(6) 卵質性能

卵質性能は、35 週齢・64 週齢時の卵質検査において 60%抽出(60 個)として測定した。

ア 卵重 (表 10~12・図 7~9 参照)

卵重は、35 週齢では 48.7 g、検定終了時の 64 週齢では、50.4 g となった。

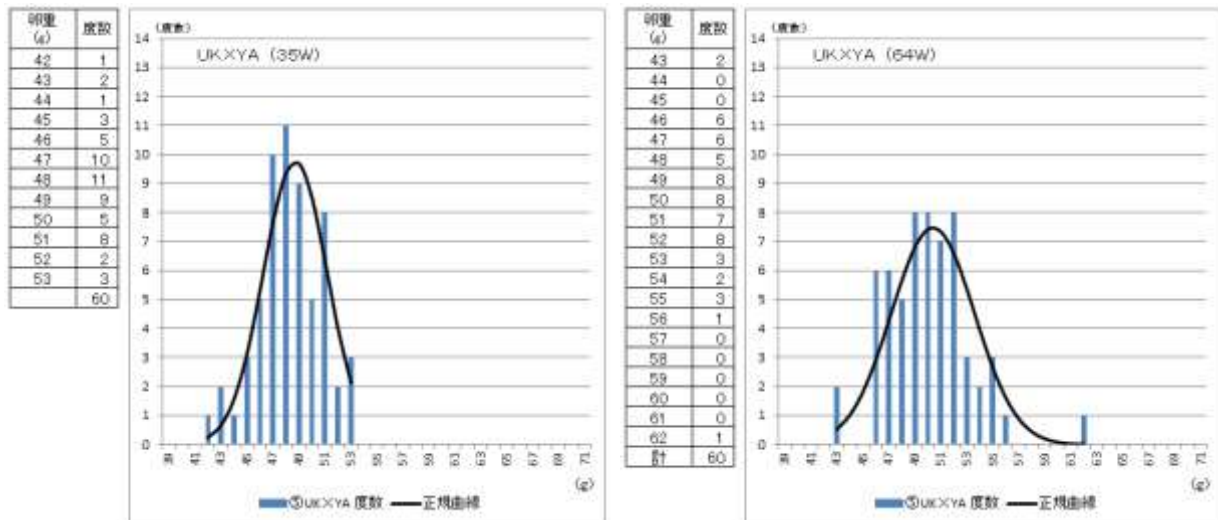
区分 (g)	UK×YA	
	35週齢	64週齢
平均	48.7	50.4
最大	53.9	62.2
最小	42.8	43.5
標準偏差	2.4	3.2
数(個)	60	60



(参考)鳥骨鶏純粋種の卵重
35週齢時: 38.8g (H28年鶏:岡崎牧場系)

(表 10・図 7) 卵重の状況

これら全ての測定値からそれぞれ度数分布、正規曲線を求めた結果、表 11~12、図 8~9 のような分布となった。

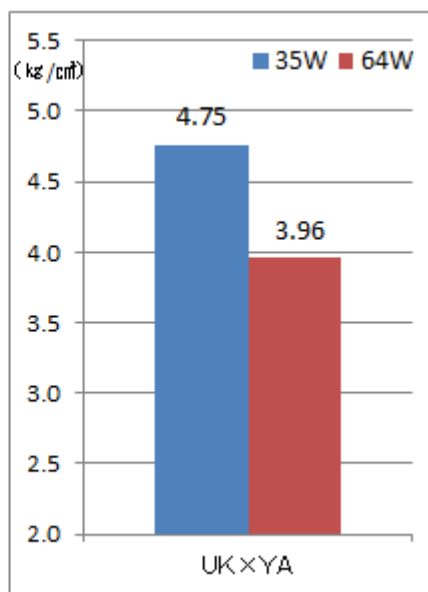


(表 11・12、図 8・9) 卵重の度数分布・正規曲線

イ 卵殻強度（表 13～15、図 10～12 参照）

卵殻強度は、35 週齢で 4.75 kg/cm²、検定終了時の 64 週齢で 3.96 kg/cm²となった。

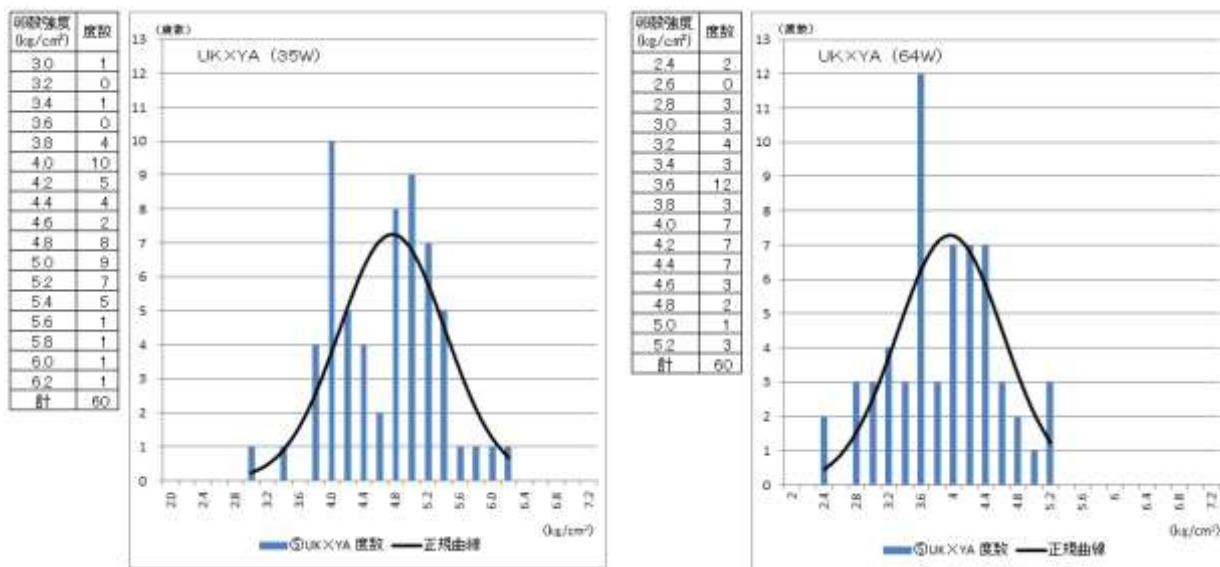
区分 (kg/cm ²)	UK×YA	
	35週齢	64週齢
平均	4.75	3.96
最大	6.23	5.28
最小	3.06	2.59
標準偏差	0.66	0.65
数(個)	60	60



(参考)鳥骨鶏純粋種の卵殻強度
35週齢時: 4.32kg/cm²(H28年鶏:岡崎牧場系)

(表 13・図 10) 卵殻強度の状況

これら全ての測定値からそれぞれ度数分布、正規曲線を求めた結果、表 14～15、図 11～12 のような分布となった。



(表 14・15、図 11・12) 卵殻強度の度数分布・正規曲線

ウ 卵殻色（表 16、図 13～14 参照）

a 卵殻色「L 値」（※ 明るい + ← 0）

色の明るさを示す L 値（数値が低いほど卵殻色が濃い）については、烏骨鶏交雑では、母系のードアイランドレッドの影響を受け、卵殻色が濃褐色のため、64～65 程度の暗い数値であった。

b 卵殻色「a 値」（※ 赤 + ← 0 → - 緑）

色の赤・緑を示す a 値（プラス数値が高いほど赤みが強く、マイナス数値が高いほど緑みが強い）は、父系の烏骨鶏（特徴：淡褐色卵）の影響を受け赤色を示すプラス数値となり、母系のロードアイランドレッドの影響により褐色が濃く 13.8～15.7 程度であった。

c 卵殻色「b 値」（※ 黄 + ← 0 → - 青）

色の黄・青を示す b 値（プラス数値が高いほど黄みが強く、マイナス数値が高いほど青みが強い）は、父系の烏骨鶏（特徴：淡褐色卵）の影響を受け黄色を示すプラス数値となり、母系のロードアイランドレッドの影響により黄みが濃く 25.7～28.2 程度であった。

（表 16）卵殻色「L 値、a 値、b 値」の状況

区 分	卵殻色(L 値)		卵殻色(a 値)		卵殻色(b 値)	
	35週齢	64週齢	35週齢	64週齢	35週齢	64週齢
平 均	64.1	65.4	15.74	13.75	28.18	25.68
最 大	71.0	75.4	18.87	18.85	32.93	30.81
最 小	59.1	57.1	11.88	5.79	20.46	18.29
標準偏差	2.8	3.8	1.67	2.58	2.74	3.23
数 (個)	60	60	60	60	60	60

<参考> 卵殻色の違い（64週齢時）



（図 13）烏骨鶏交雑の卵殻色の状況

<参考> 卵の特徴（55週齢時）



烏骨鶏(UK) (42.8g)	UK×白レグ(MB) (54.5g)	白レグ(MB) (62.9g)
	UK×ロート(YA) (51.5g)	ロート(YA) (57.5g)

（図 14）烏骨鶏交雑の卵の特徴